

# 豊川市議会傍聴記

地方政治  
クリエイト

伊藤 秀昭

◆熊本地震と防災対策

小林琢生氏(清風会)は熊本地震と防災対策について取り上げ、東日本大震災などの経験から国の動きについて見直された点などの質問から始めた。

害対策、り災証明の発行などの教訓を防災対策に生かすよう要請した。

◆有害鳥獣対策  
平松八郎氏(とよかわ未来)は豊川市は有害鳥獣対策の先進地であること取り組みを評価したうえで、昨年7月に起こった静岡県西伊豆町での電気柵による事故を教訓に、その安全対策や今後の取り組みについて聞いた。

防炎対策は国と被災地をつなぐ体制が早期に構築されたことや、プッシュ型支援で被災地へ早期輸送が可能だったことなどを挙げた。

小林氏は防災教育の在り方や、盗難被害に市内山裾エリア

産業部長は事故直後に市内山裾エリア

に「組回覧」や現地調査などで改善指導をし、「すべて法令に適合しており事故の可能性はない」とした。

市長は「トップマネジメントの強化が必要と認識し、副市長の複数制を言及していたが、熟慮を重ねて、今日に至っている。行政の課題は多岐にわたっ

ツットの両面あるが、何より「ふさわしい人材そのもの」が肝要である。

◆性的少数者  
八木月子氏(一人会派)は思春期の娘さんを持つ母親からの相談からLGBT(性的少数者)への取

今夏にも豊川高校水泳部や東海理化野球部の活躍も期待されることから教育部長は「スポーツ選手ふれあい活動や、スポーツ環境・施設の整備、競技水準の高い大会や、競技会の開催誘致にも力を入れていきたい」とした。

消防団の現状と課題  
熊本地震でも地域消防団の必要性や重要性が評価されているが、消防団員の減少に歯止めがかか

## スポーツで輝くまちに熱い期待

策は農業分野の重要な課題であり、慎重な姿勢で取り組むに期待した。

ており今後、検討を重ね、早ければ来年度以降に選任調整及び副市長定数条例の改正手続きなどに入っていくと答弁し、具体化に向けて踏み出した。

教育長は「把握しづらい内容でもあるが、文科省からの通知もあり、相談体制の充実や、本人や保護者から要望があれば可能な限り慎重な対応を考える」と答

り組みについて質問した。

匹克では競泳女子の加藤ゆかさんが豊川市初のメダリストになるなど、豊川出身やゆかりの選手たちが世界の舞台で素晴らしい活躍をしていることから「まちづくり」と「シティセールス」について

旧一宮町から団員の確保が困難で再編成の要望も出ていることから今泉氏は「消防団員の負担軽減の面から行事などの見直しを図るなどして地域の防災力の低下を招かぬよう努力すべき」と強調した。

◆副市長複数制  
堀内重佳氏(とよかわ未来)は07年の市長選初出馬の折に市長が言及した「副市長の複数制」につ

副市長の複数制にはメリット・デメリ

質問した。

っっていないことから消防団の現状と課題について問題提起したのは今泉淳乙氏(とよかわ未来)。

消防長は「豊川市の消防団数も減少傾向にあり、様々な確保を行っているが、その効果は表れていない」と答弁した。

た。